

当院で冠動脈疾患に対する CT 検査・カテーテル検査を受けられた患者さん・ご家族様へ

研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しています。この研究は、普段の診療で得られた以下の情報を研究のために解析してまとめるものです。研究のために、新たな検査等はいりません。ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療の情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出以降は、その方の情報は本研究には利用せず、それ以前に本研究のために収集した情報があれば削除します。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2000年1月～2025年12月の間に、心臓血管内科 冠疾患科・心臓血管系集中治療科において冠動脈疾患にて入院し、CT検査・カテーテル検査を受けた方

【研究課題名】不安定プラーク形成における冠動脈周囲炎症の意義解明を目指した研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 冠疾患科 医長 片岡 有

【研究の目的・意義】

本研究はこれまでのCT検査・カテーテル検査データを利用して、心筋梗塞を引き起こすプラーク形成における炎症の関係を明らかにすることを目的としています。

本研究の成果は、心筋梗塞発症の予防につながる治療の確立につながるものです。

【利用する診療情報等】

診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、血液（血算・コレステロール値・腎臓機能・糖尿病関連指標）、冠動脈造影所見を含めた画像診断（血管内超音波検査、光干渉断層計、スペクトロスコピー、MRI、CT）、冠循環生理学的指標（冠血流予備能比、冠血流予備能、安静時血流指標）、内服薬、冠動脈疾患に対する各種治療内容

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長 大津 欣也

【研究の実施体制】

この研究は、他機関と共同で実施します。研究体制は以下のとおりです。

研究代表者

豪国モナッシュ大学 循環器内科 准教授 Dennis Wong

共同研究機関・研究責任者

国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医長 片岡 有

また、本研究で収集した情報を、上記の研究機関で共有し、共同で研究を行います。共有する際は、あなたのお名前等は記載せず、個人が直接特定できないようにします。

提供方法：電子的配信（データは個人が特定できないように加工されて使用します）

【研究期間】 研究許可日より 2035 年 12 月 31 日までの間（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所等の個人を直接特定する情報については厳重に管理し、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人を特定できない形で行います。

この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究機関の長の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト（<http://www.ncvc.go.jp>）の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【この研究の結果について】

この研究は、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありませんので、研究の結果を個別にお知らせすることはありません。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 心臓血管内科 冠疾患科 医長 片岡 有

電話 06-6170-1070(代表)